

保健だより

文責 原 朋美

⚠️ インフルエンザ注意報発令中 ⚠️

インフルエンザが全国各地で流行し、佐賀県ではインフルエンザ注意報が発令されています。武雄小学校では、1月に15人、インフルエンザA型の陽性連絡がありました。インフルエンザは、1～3日の潜伏期間の後、38度以上の発熱、せき、鼻水、咽頭痛、筋肉痛、関節痛などの症状が起こります。

インフルエンザかな?と思ったら

☆早めに医療機関を受診しましょう

症状が出てから概ね48時間以上経過すると、ウイルスが増えすぎて薬が効かなくなる場合がありますので、注意をしましょう。

☆咳があるときは、マスクを着用しましょう

特に医療機関を受診する際は、他の患者への感染防止のため、マスクを着用してください。

☆外出を控え、医師の指示に従い、療養しましょう

インフルエンザの出席停止期間は学校保健安全法で決まっています。



『 発症後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで 』

(幼児にあたっては解熱後3日を経過するまで)

	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発症後次の日に解熱した場合	 発熱	 解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	解熱後 3日目	解熱後 4日目	登校 可能 		
	出席停止期間								
発症後5日目に解熱した場合	 発熱	 発熱	 発熱	 発熱	 発熱	 解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	登校 可能 
	出席停止期間								

感染症予防の **ポイント** は

減らす・入れない・戦う

※病院を受診し、インフルエンザの診断がでたら、学校へ連絡をお願いします。家族がインフルエンザになっても、児童本人の症状がなければ、登校は可能です。



こまめな掃除や換気で
室内のウイルスを

減らす!



マスクや手洗いで
体にウイルスを

入れない!



食事・睡眠・運動で
免疫をつけてウイルスと

戦う!

図書だより

文責 秀島伊都子

新春読書感想文コンクール

新春読書感想文の地区審査が1月16日に行われました。全校で55名が感想文に取り組んでいました。昨年に比べると、取り組んでくれた子が少なかったようです。冬休み前に、臨時休校や感染症が流行して、十分な周知ができなかったこともあるかと思います。

さて、今回の審査の結果は以下の通りでした。受賞されたみなさん、おめでとうございます。

特選 5年 辻 風乃可さん 「踏み出す勇氣」

特選 4年 下平 沙奈さん 「わたしって 損してる？」

入選 2年 辻 南乃叶さん 「心の中に思い出がいっぱい」

入選 2年 池脇 心春さん 「思いやりの気持ち」

*特選の辻さん、下平さんは県の審査へ進みました。

1月26日の県の審査で、5年 辻 風乃可さんが「県知事賞」、4年 下平 沙奈さんが「地域婦人連絡協議会長賞」でした。おめでとうございます。

今の学年も、2月、3月を残すのみになりました。今年度の目標「一人150冊」は、クリアできるでしょうか？残、40日余り、図書室に本をかりに来てくださいね。テレビを消して、親子で読書もいいですね。!(^^)

はあとふる



文責 大古場 佐登美

12月の人権集会で、1・2・3年生は「学級のなかよし合言葉」を発表してもらいました。今回は 1・2・3年各クラスの合言葉を紹介します。

1年1組	なかまはずれのないたのしいクラスにするために、じぶんからこえをかけよう 「いっしょにしよう。」「なかまにいれて。」
1年2組	なかよくたのしくおもいやり ふわふわことばとやさしさで みんなえがおの1ねん2くみ
2年1組	ちくちくことばから ふわふわことばへ かっきのある2の1
2年2組	だいじょうぶ いっしょにあそぼう すごいね きもちいいあいさつ2年2組
3年1組	みんないいよ！みんな大切！ やさしい笑顔の3の1！！
3年2組	ふわふわ言葉で伝わる思い みんな協力3年2組

どのクラスもあたたかい言葉いっぱい「なかよし合言葉」ができました。この合言葉を見ながら、いつも心がふわっとしてくれたらいいなと思います。「～さん～くん」をつけて名前を呼ぼう！という取り組みも頑張っています。学校は公的な場所ですから、きちんとした言葉使いで、友達や先生に接していくことを学ぶ場所です。また、呼び捨ての後に続く言葉は乱暴な言葉が多いものです。ご家庭でも、言葉使いについての話題にもふれていただけたらと思います。